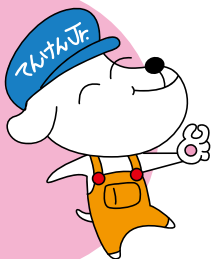


愛車の点検 大丈夫?



大切な車を安全に長く乗るために

皆さんは車を定期的に点検してますか?車の定期的な点検・整備は、車の性能を保持するだけでなく、急なトラブルを防ぐ事ためにも大変有効です。皆さんの大切な愛車を長く、安全に乗っていただくために定期的な点検をお願いします。



定期点検大丈夫?

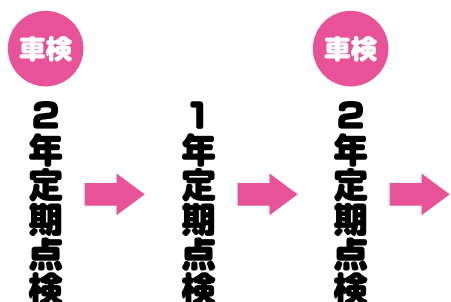


道路運送車両法第48条では自動車の使用者は、日常点検整備および定期点検整備を確実に実施し、使用状況に応じて適切な保守管理を行う義務が法律で定められています。

フロントガラス左隅の「点検整備済ステッカー」をご覧ください。
中央の数字が年、外枠数字が実施月を表示しています。

【定期点検の時期(例)】

- 自家用乗用車の場合→
車検(継続検査)の間隔が2年(初回3年)ごとのクルマは、車検を受けて1年後です。
- 自家用貨物車の場合
車検(継続検査)の間隔が1年(初回2年)ごとのクルマは、車検を受けて6ヶ月後です。



長期間使用車の点検大丈夫?

年式・走行距離に見合った点検・整備を。

10年以上使用している車・走行距離が10万km以上の車は、気付かないうちに走行性能や安全面等、本来の性能を出せない状態になっていることが多くあります。このような状態で使用を続けると、重度の故障を引き起こすことにもなりかねません。これらを防止し、愛車を快適に使用するためには、法定定期点検だけではなく、年式・走行距離に見合った的確な点検・整備が重要になります。

長期間使用車の点検について

詳しくは、裏面をご覧ください。

(社)愛媛県自動車整備振興会

愛媛県松山市森松町1075番地2 TEL:089-956-2181 <http://www.easpa.jp>

長期間使用した車両の 故障・不具合事例

長期間使用による特有のトラブルを未然に防ぐ。

自動車のトラブルの原因は様々ですが、ここでは、長期間使用した車両の特徴的な事例をいくつかご紹介します。ぜひ、愛車の故障・不具合を未然に防ぐためにお役立てください。



POINT 1

ラジエータ・キャップ劣化によるオーバーヒート

ラジエータ・キャップが劣化すると、冷却水に圧力がかからなくなり、沸騰してエンジンがオーバーヒートしてしまい、最悪の場合エンジンが焼き付いて使用不可能になってしまいます。



ラジエータ・キャップの劣化

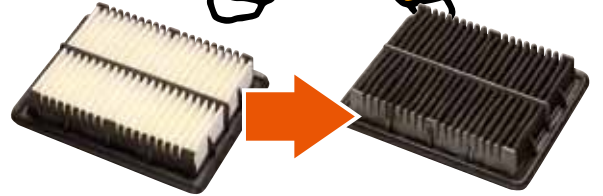
POINT 2

メンテナンス不良によるエンジン異音発生

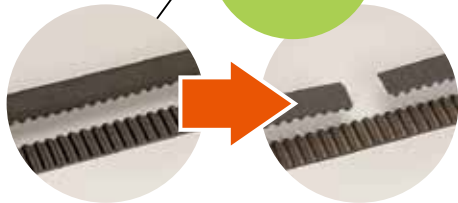
エンジン・オイル等のメンテナンスが不良だった場合、エンジン内部に汚れが蓄積され、性能低下、燃費悪化等を引き起こし、そのまま使用し続けると、最悪の場合エンジンが焼き付いて使用不可能になってしまいます。



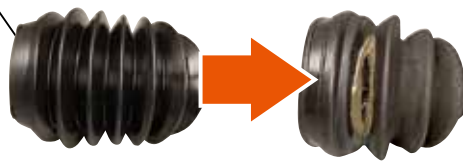
エンジンオイルの汚れ



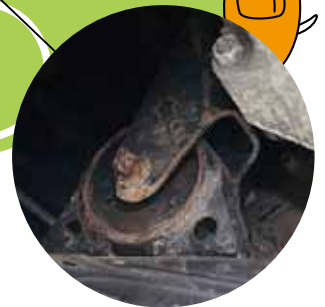
エアエレメントの汚れ



タイミング・ベルトの切断



ドライブシャフトブーツの破損



エンジン・マウントの劣化

POINT 3

劣化、摩耗によるタイミング・ベルト切断

タイミング・ベルトはエンジンを動かす上で重要な役割を担っています。摩耗、劣化により切断した場合、走行不可能になってしまい、エンジンに重度の故障を引き起こしてしまう可能性もあります。

POINT 5

ドライブシャフトブーツ破損による異音の発生

ドライブシャフトは、エンジンからの力をタイヤに伝える重要な部品で、可動部はゴム製のドライブシャフトブーツで保護されています。破損した場合、部品の磨耗により異音が発生したり、走行不能になってしまう場合があります。

POINT 5

エンジン・マウント劣化による亀裂

エンジン・マウントはエンジンを支え、車体に振動を伝えないためにクッションの役割をしています。振動により劣化し、亀裂が生じた場合、エンジン本体が脱落する危険があります。

大切な命を乗せて走るクルマだからこそ、
確実な点検整備を済ませてから運行してください。